

不用な端材「新」活用プラットフォーム

リ・ボーン プロジェクト

--使われない端材に新価値を生み出す循環型再生モデル--
(SDGs推進活動 支援モデル)

ご協賛依頼書

リ・ボーン プロジェクト 準備室
葉倉峰雄

リボーンプロジェクト事業概略/目的

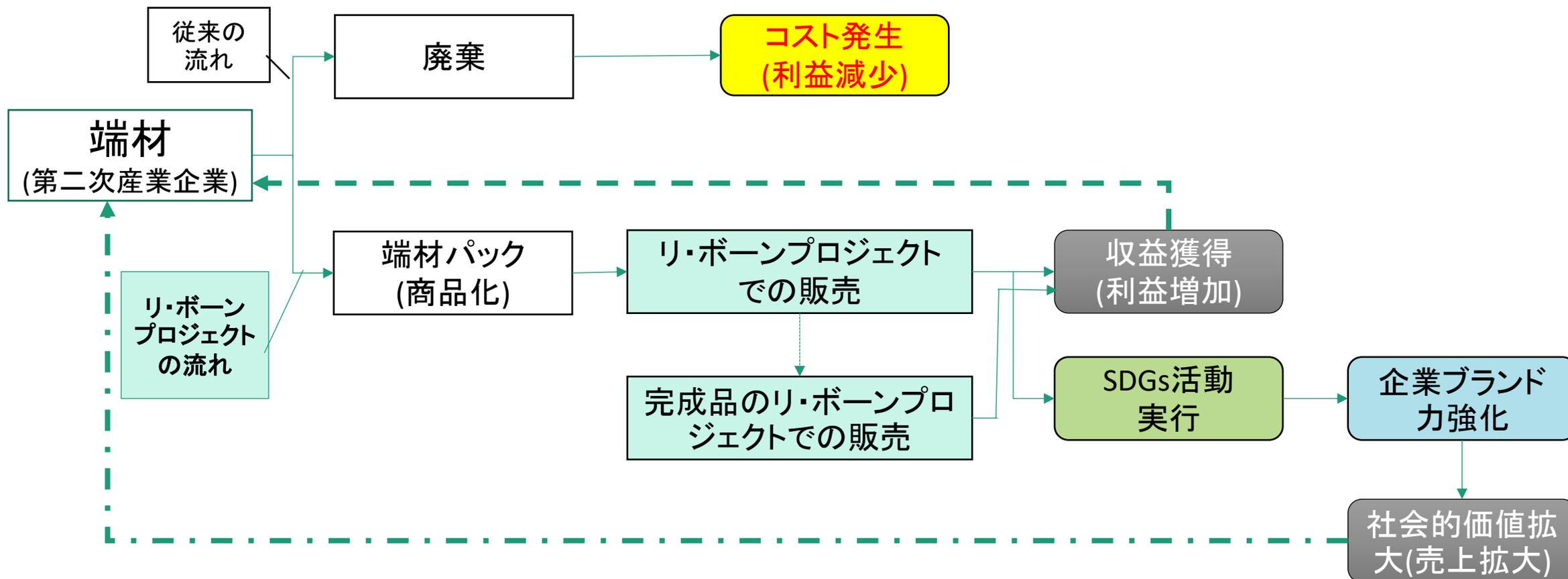
事業概略

- ・第二次産業など、加工業における生産過程で発生する、活用しない端材(端物材料)を、通常製品以外に活用することを推進する事業
- ・想定する対象端材---木、紙、段ボール、ポリウレタン、皮、石、タイル、ガラス、発砲スチロール等、一般人が加工するのに容易な素材(且つ、リサイクル等がまだ完全に確立していない材料/市場)
- ・想定する企業規模
 - ・自社単独で循環型モデル構築が難しい中小企業
 - ・全社的に、SDGs推進企業をアピールしたい大手企業
- ・当該材料を、一般人に広く活用してもらい、具体的な成果物を作成し、さらにそれを販売できる「循環型」モデルの実現

事業目的

- ・参画当該企業の「端材」の再活用化(商品化、事業化)
- ・参画企業の商品の再認識、購入喚起・促進(事業拡大)
- ・同企業のSDGs推進活動(ゴール12ターゲット5)
- ・企業/クリエイター/一般利用者の関係性の構築
- ・個人利用者の創作意欲の向上
- ・消費者のエコ意識の向上/エコ意識の作品化/具現化欲求の充足
- ・個人利用者の新規作品、プロダクツの販売

本プロジェクトの位置づけ(「従来の流れ」との比較)



本プロジェクトにおける導入企業側の 付加価値

- 本プロジェクトは、SDGs推進活動(ゴール12 ターゲット5)に該当するアクションであり、対外的に広くアピールできる



12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。

本プロジェクト初期活動へのご協賛相談

1. ご協賛企業様から端材のご提供

- 通常、費用をかけて廃棄する予定の「端材」のご提供(無償提供)
- (可能であれば)下記2、3のアクションにおいて、工場等の一部分等に加エスペースのご提供

2. 端材加工品のアイデア検討

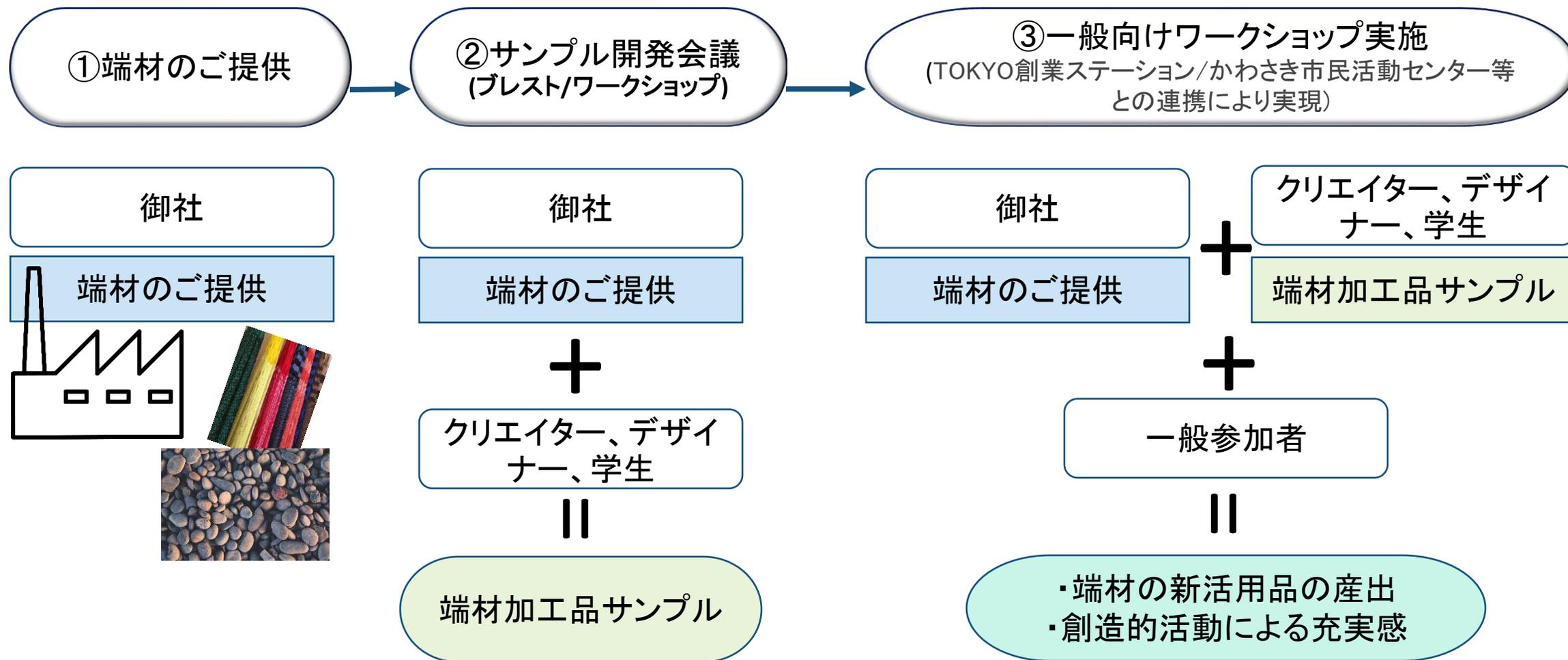
- ご提供いただく端材を活用した作品/ワークショップのプロトタイプ化の「ブレスト会」
- 端材活用作品のプロトタイプを、ワークショップ等の共同開発パートナー(クリエイター、美大等のゼミ学生等)と検討
- サンプル開発目標----一端材に関して、5件程度の作品サンプル

3. 一般向けの端材ワークショップの実施

- 1端材+2協力者+3サンプルを活用し、小規模の一般向けの端材ワークショップの実現
- 参加者募集は、自治体、教育委員会、市民館等の協力を得て実施
- (目標)協力企業、クリエイター群、一般参加者等に、本プロジェクトの面白さ、可能性、価値等を実感していただく

※本プロジェクトへのご協賛費用は、発生しません。

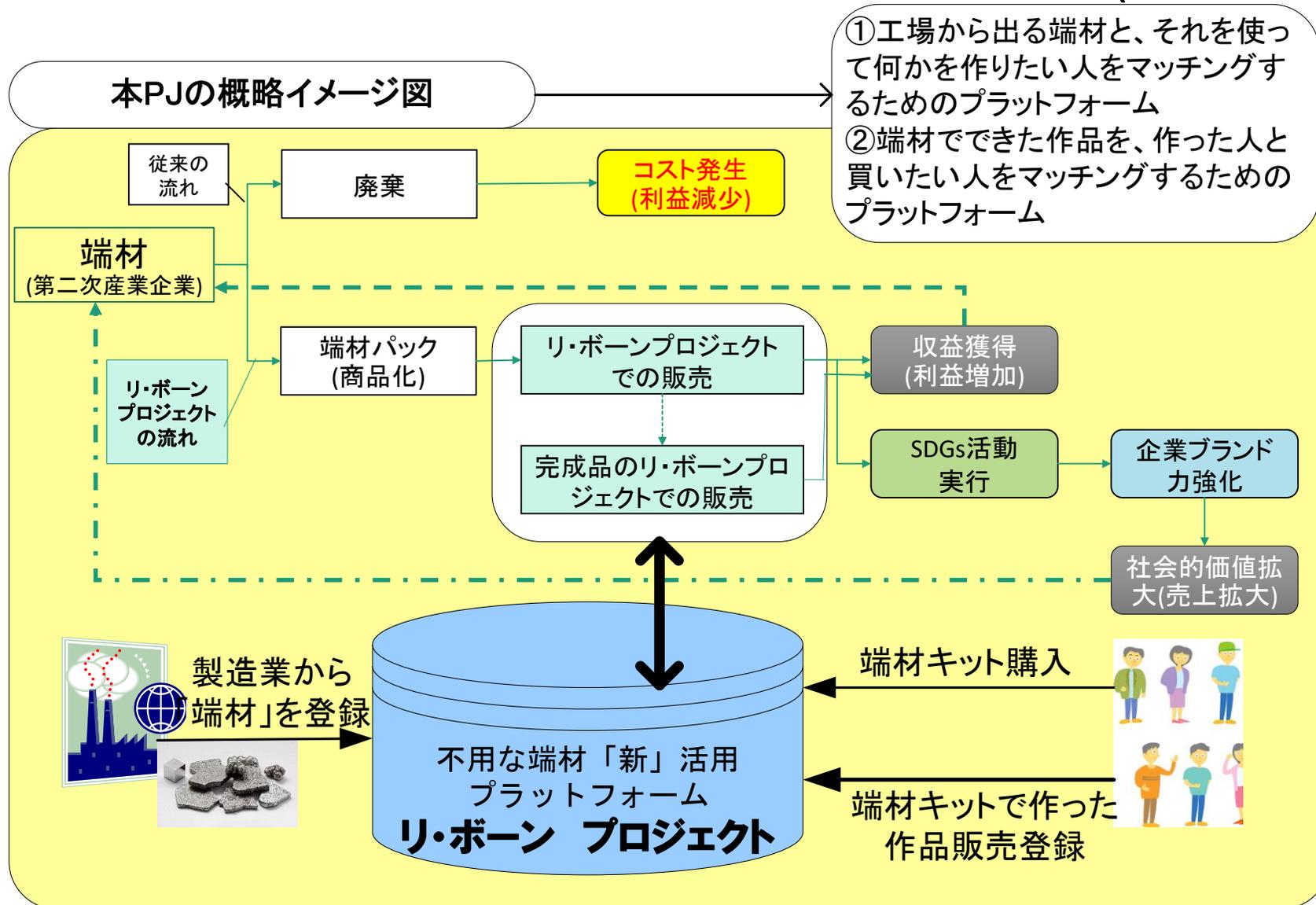
ご協賛の全体イメージ



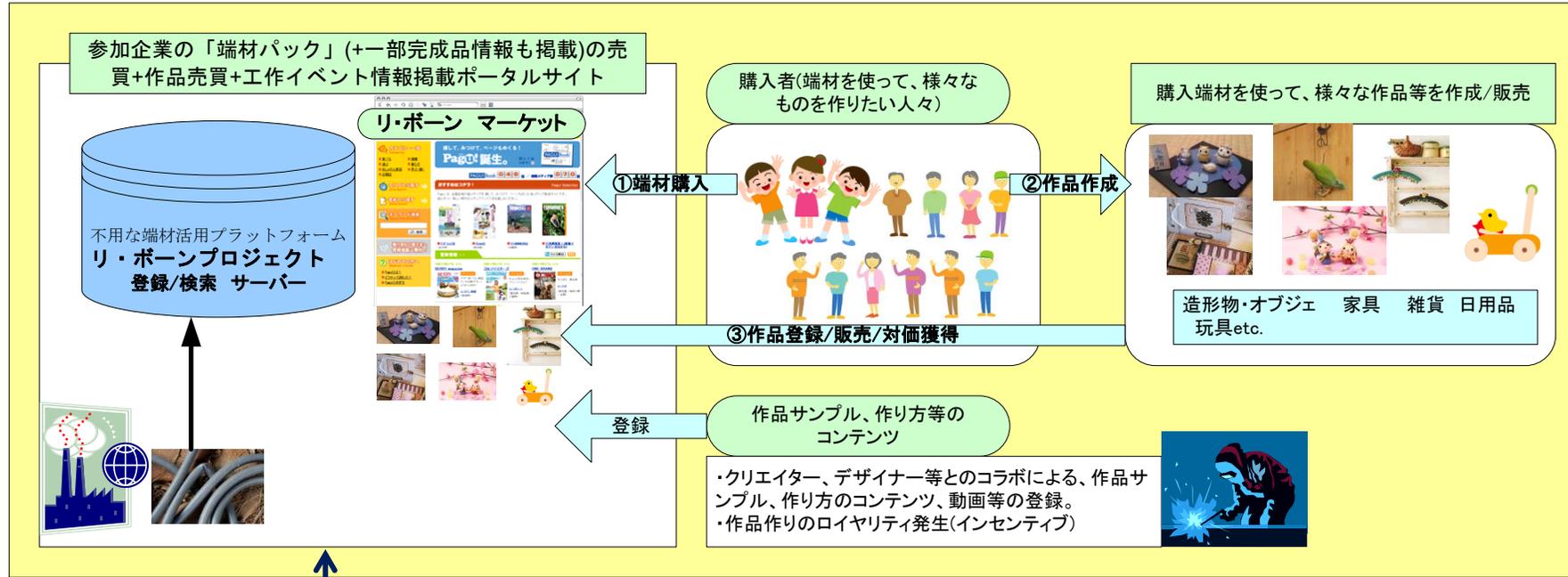
ご協賛メリット

- 一般向けワークショップ参加者募集ツールにおいて、協賛企業名を明記(企業ブランド力の強化/販売力強化)
- 一般向けワークショップ開催時に、協賛企業名の掲示(企業ブランド力の強化/販売力強化)
- 本番「リボーンプロジェクト」展開時、各種ツールにおいて、協賛企業名の明示(企業ブランド力の強化/販売力強化)
- 費用をかけて廃棄している端材の収益化(収益を生む商材に変革させる)
- 一般向けワークショップ開催時に、協賛企業の「商品」「製品」の展示販売の実施(スマホ等活用のEC展開可能)

リボーンプロジェクトの全体イメージ(概略図)



本モデルでの実現効果/想定機能一覧



実装機能案

- ・企業商材の登録/販売等EC機能
- ・利用者側での企業商材検索/購入/決済
- ・個人における作品等の登録システム
- ・個人間でのEC機能
- ・クリエイター等の作品/作り方コンテンツ登録/EC機能

- ・当該企業に対する「リ・ボーン共感カンパニー」認定等(マーケティング支援)

実現できること

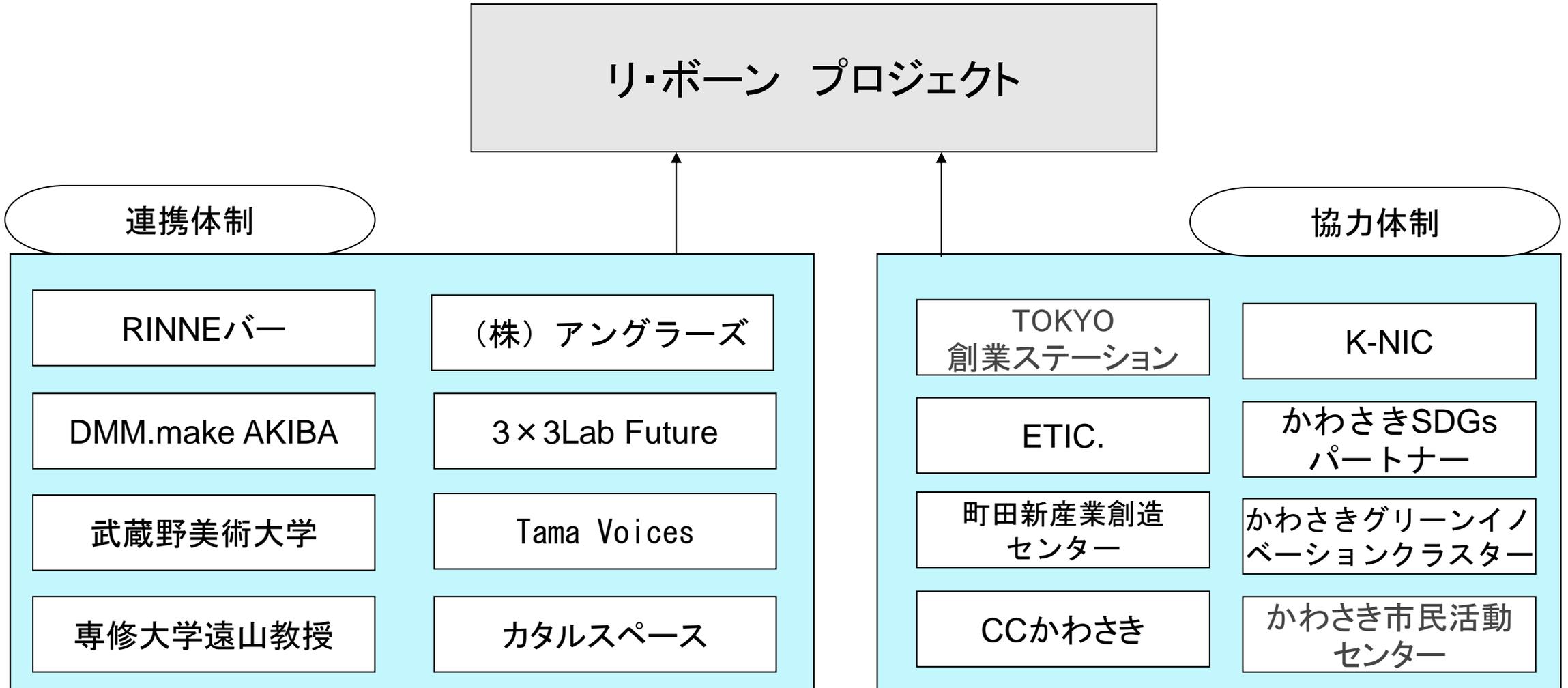
●企業側

- ・新規商材(端材パック)の商品化/販売・収益化
- ・廃棄費用の削減
- ・SDGs12.5活動への貢献
- ・企業ブランド構築・強化
- ・既存製品の販売力強化/経営力強化
- ・消費者とのリレーションシップの構築

●コンシューマー側

- ・端材という新しい素材に触れることによる創造力/想像力の拡大、感動
- ・「エコ」意識の醸成/向上
- ・オリジナル作品の創造という自己実現欲求の充足
- ・手作り作品の販売による収益獲得
- ・他者から「認められる」欲求の充足

本プロジェクトにおける連携・協力体制



本活動におけるご協賛相談の流れ

1. 本資料でのご相談
2. 対面での詳細説明、ご相談
3. 御社内でのご検討
4. 御社におけるご協賛決定(→事務局へのご連絡)
5. 加工品ブレスト会等の日程等の調整・ご相談
6. 一般向けワークショップ展開日程、ご協力内容等の調整・ご相談

●依頼者 リ・ボーンプロジェクト準備室 葉倉
hakura@juspa.jp 090-9242-7706 お気軽にお問合せください。

参考
(まちだビジネス
コンテスト
準大賞受賞)

